

岡安証券

～注目・外株銘柄～

(2020年2月)

(株価データ、株価指標は現地2020年1月30日現在)

【米国市場・24銘柄掲載】

<新規>

P1 【ハイテク主力】 ネットフリックス(NFLX)

P2 【金融】 S&Pグローバル(SPGI)

<継続>

P3 【ハイテク主力】 アルファベット(GOOG)

P4 【ハイテク主力】 フェイスブック(FB)

P5 【ハイテク主力】 アップル(AAPL)

P6 【クラウド】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P7 【クラウド】 マイクロソフト(MSFT)

P8 【クラウド】 セールスフォース・ドットコム(CRM)

P9 【5G(通信)】 キーサイト・テクノロジーズ(KEYS)

P10 【半導体製造装置】 ASMLホールディング(ASML)

P11 【半導体】 台湾セミコンダクターADR(TSM)

P12 【半導体】 クアルコム(QCOM)

P13 【半導体】 ブロードコム(AVGO)

P14 【半導体】 エヌビディア(NVDA)

P15 【半導体】 ザイリンクス(XLNX)

P16 【ストレージ】 ウェスタン・デジタル(WDC)

P17 【医療機器】 インテュイティブ・サージカル(ISRG)

P18 【フィンテック】 ビザ(V)

P19 【フィンテック】 ペイパル・ホールディングス(PYPL)

P20 【防衛・宇宙】 ロッキード・マーティン(LMT)

P21 【産業部材】 コーニング(GLW)

P22 【消費】 ディズニー(DIS)

P23 【大手製薬】 ファイザー(PFE)

P24 【公益】 ネクステラ・エナジー(NEE)

<新規>

動画配信サービス最大手

金融情報サービス大手

<継続>

インターネット検索サービス世界最大手

世界最大のSNS運営会社

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット小売世界最大手

ソフトウェア世界最大手

クラウド専門の顧客管理ソフト最大手

電子計測器の世界最大手

世界最大の半導体製造受託企業

スマートフォン向け半導体世界大手

通信用半導体大手

画像処理半導体(GPU)開発企業

PLDやFPGA半導体の大手

世界の半導体製造装置の大手

HDD、フラッシュメモリの業界大手

外科手術ロボットを製造・販売

クレジットカード決済サービス世界最大手

決済サービス大手

防衛請負の世界最大手

特殊ガラス、セラミック製品大手

世界的な娯楽・メディア企業

製薬世界最大手

環境配慮型の発電に特化する電力会社

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

米国の動画配信サービス最大手。オリジナル・コンテンツの充実で世界の加入者獲得を推進

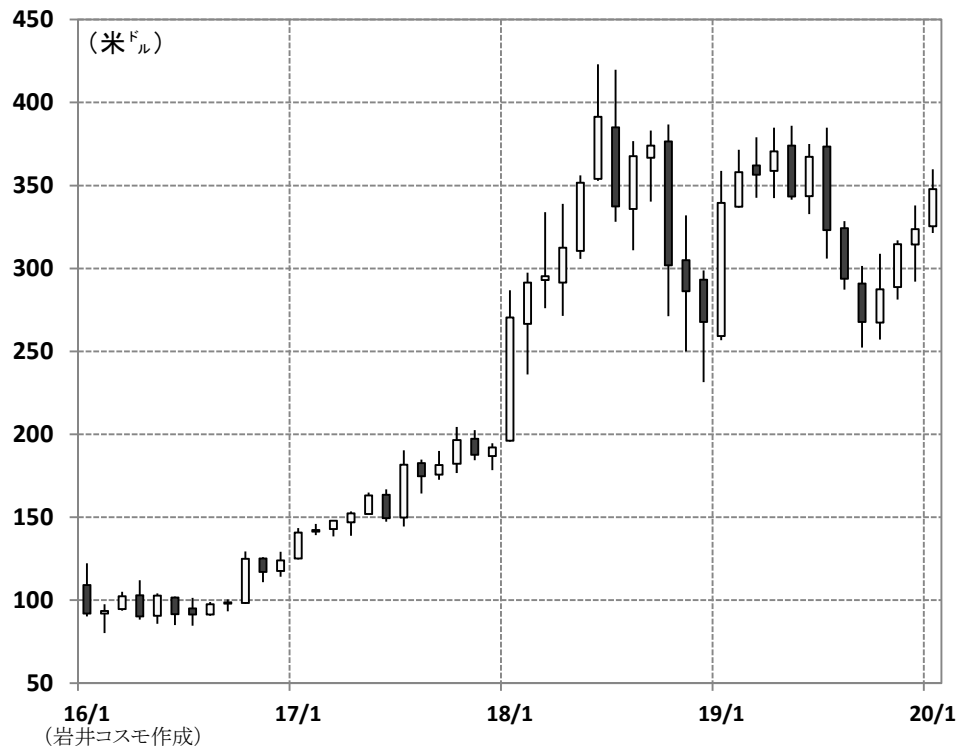
会社概要

1997年創立。オンラインDVDレンタルと映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。ネット宅配DVDレンタルから始めたが、現在は動画配信事業が主力。人気映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化中。現在の展開地域は190カ国超、有料加入者数は米国が6,104万人、海外が1億60万人(19年12月末)、19年の世界加入者当りの月次収入は前期比13%増の12.57ドル。

注目ポイント

□ **海外成長続く。オリジナル作品充実**: 16年1月に展開地域を190カ国超に拡大し、オリジナルドラマやコメディ番組を強化。米国ではTV視聴時間全体の1割をネットフリックスが占めるまで浸透。第92回アカデミー賞(2月9日授賞式)の候補が発表され、ロバート・デニロ主演の「アイリッシュマン」等の複数作品で計24部門がミネトされ、その数はディズニーやソニーピクチャーズ等を抑えてトップに立ち、コンテンツ力を発揮した。

□ **ディズニーの参入も会員離れ進まず**: ディズニーやワーナーメディアが米ストリーミング配信市場に本格参入するが、会員離れの懸念は薄まりつつある。コンテンツ制作費用の上昇を抑えながら良質な作品を提供すると同時に利益や現金収入を増やすことが求められている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	347.74 (01/30)	実績PER	84.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	385.99 (19/05/01)	株価売上高比率	7.6 (倍)	2018/12	15,794	35	1,605	91	1,211	117	2.68	0.00
52週安値(日付)	252.3 (19/09/24)	PBR	20.1 (倍)	2019/12	20,156	28	2,604	62	1,867	54	4.13	0.00
時 価 総 額	1,526億ドル 16兆6,263億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	7.7 (過去6ヶ月間) 2.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	4,187	—	216	—	134	—	0.30	0.000
		株主資本利益率(ROE)	29.1 (%)	2019/Q4	5,467	31	459	113	587	338	1.30	0.000
		株式ベータ	1.41 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

S&Pグローバル(SPGI)

上場市場

ニューヨーク

セクター

情報サービス

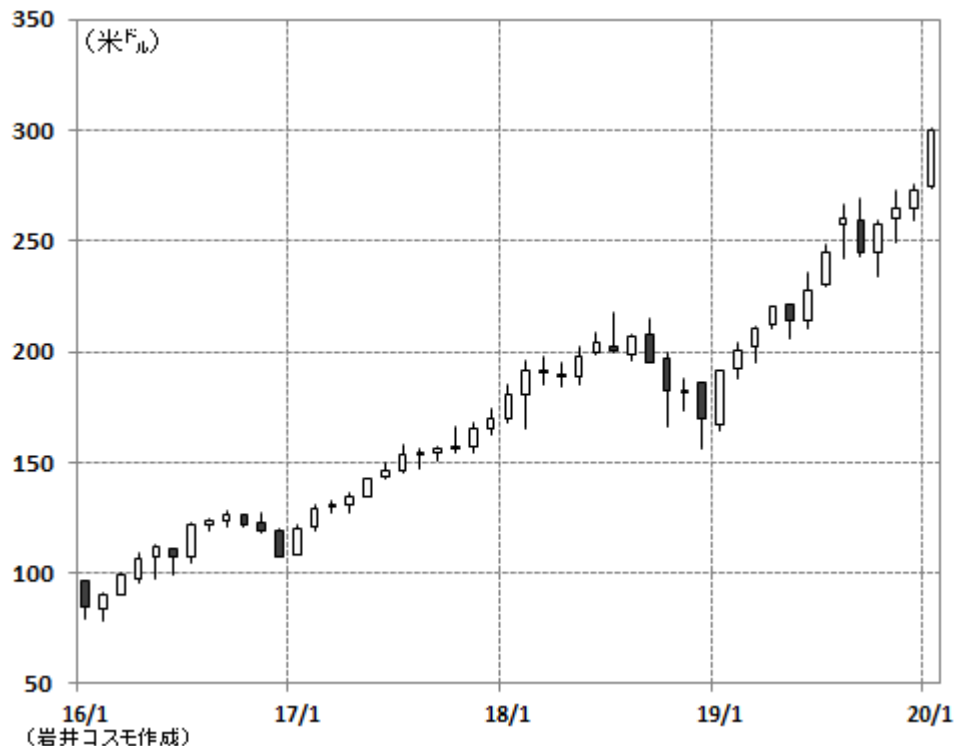
金融情報サービス大手。高収益の債券格付け業務や株式指数管理サービスを提供

会社概要

金融情報サービス大手。世界的な格付け会社「スタンダード・amp;・プアーズ・レーティング」等を経営。祖業は出版社「マクローヒル」。1966年に金融情報のデータ分析サービスを手掛ける「スタンダード・amp;・プアーズ」を買収。現在は、出版事業は切り離され、4つの部門（格付け、企業財務情報、指数提供、商品価格提供）からなる、情報サービス企業となっている。本社はニューヨーク、社員数は約21,000名（19年9月末時点）。

注目ポイント

- **安定した顧客基盤・高収益・排他的な競争環境**: 収益の約半分を占める債券の信用力を評価する「格付け業務」部門やNYダウ工業株平均やS&P500等の主要指数の管理を行う「指数提供業務」等、いずれの事業も参入障壁が高く、営業利益率は高水準。同銘柄は46年の連続増配実績を持ち、S&P500配当貴族指数に属す。
- **「ESG関連」事業を強化、恩恵享受**: 「ESG投資」が世界的に注目がされる中、関連事業を強化。格付け業務では環境分野への取り組みに特化した債券「グリーンボンド」の格付けや、発行体のESG項目の評価サービスを提供する。ほか企業情報サービス業務ではESGやSDGs(持続可能な開発目標)の点数化業務など広範囲に従事。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	299.86 (01/30)	実績PER	33.9 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	300.69 (20/01/29)	株価売上高比率	11.4 (倍)	2017/12	6,063	7	2,583	-23	1,496	-29	5.78	1.64
52週安値(日付)	187.84 (19/01/31)	PBR	211.8 (倍)	2018/12	6,258	3	2,790	8	1,958	31	7.73	2.00
時価総額	733億ドル 7兆9,852億円	税前配当利回り(%)	0.89 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	22.4 (過去6ヶ月間) 56.5 (過去1年間)	配当成長率(%)	14.0 (過去1年間)	2018/Q3	1,546	—	704	—	495	—	1.95	0.50
		株主資本利益率(ROE)	334.8 (%)	2019/Q3	1,689	9	891	27	617	25	2.50	0.57
		株式ベータ	0.94 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アルファベット(GOOG)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

インターネット検索サービス世界最大手。ネット広告市場拡大の恩恵享受

会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロムブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は114,096人(19年9月末)。

注目ポイント

□ **広告・広告外収入が共に伸びる**: スマホOSの8割以上が「アンドロイド」であり、スマホビジネスを有利に進める。モバイル広告や動画サイト「ユチューブ」向け広告収入が成長を支えるほか、クラウドサービスやアプリ関連収入に加えてAIスピーカー販売の広告外の売上も増加中。

□ **成長鈍化懸念を払拭**: 19年7-9月期は売上高が前年同期比20%増の405億ドル。検索連動広告や、「ユチューブ」を中心とした広告収入が同17%の伸びを示した。

□ **量子コンピュータ**: 同社の研究チームが開発している量子コンピュータが現在のスーパーコンピュータで1万年かかる計算を200秒で終えたと研究雑誌に発表。世界中で開発競争を繰り広げる同分野で存在感をみせた。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	1454.25 (01/30)	実績PER	33.7 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	1500.49 (20/01/22)	株価売上高比率	6.5 (倍)	2017/12	110,855	23	26,146	10	12,662	-35	18.00	0.00
52週安値(日付)	1027.03 (19/06/03)	PBR	5.2 (倍)	2018/12	136,819	23	26,321	1	30,736	143	43.70	0.00
時価総額	1兆0,036億ドル 1,09兆3,480億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	18.4 (過去6ヶ月間) 32.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q3	33,740	—	8,625	—	9,192	—	13.06	0.00
		株主資本利益率(ROE)	17.9 (%)	2019/Q3	40,499	20	9,177	6	7,068	-23	10.12	0.00
		株式ベータ	1.07 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

フェイスブック(FB)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

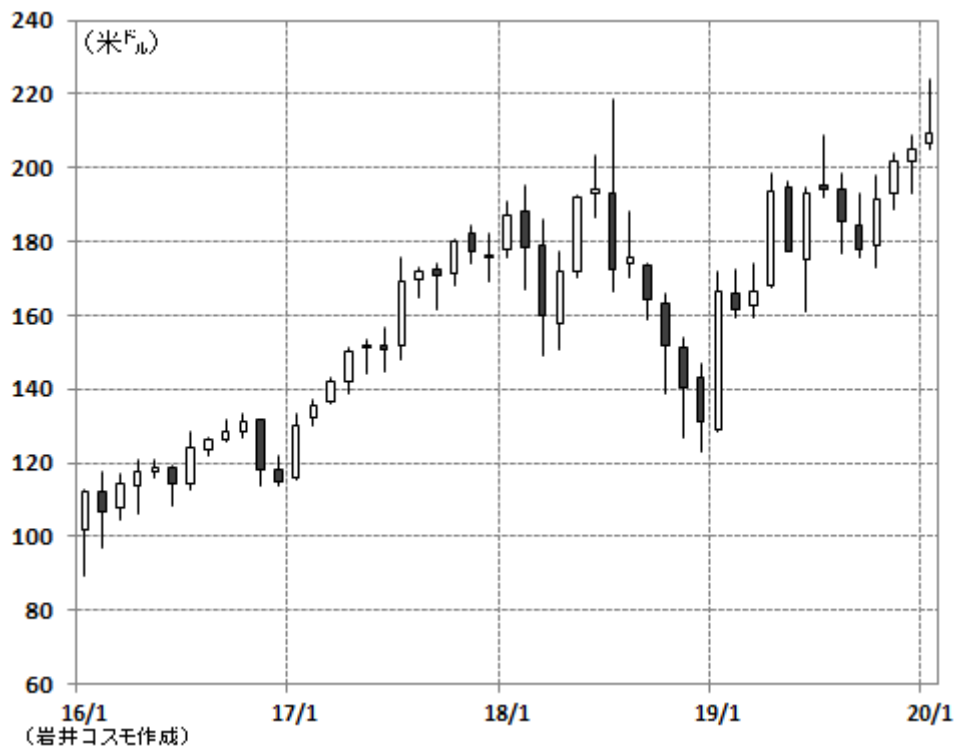
24億人のユーザーを抱える世界最大のSNS運営会社

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、会員数(月間稼動)は全世界で24.9億人(19年10-12月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。収入構成の99%が広告、1%が決済手数料などの広告外収入(前期実績)。対話アプリのワッツアップを14年10月に買収。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は44,942名(19年12月末)。

注目ポイント

- **第4四半期、売上高、最終利益は過去最高を更新**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比25%増、純利益が同7%増。プライバシー保護や政治的問題により同社への逆風が続く中、インターネット広告事業が拡大、売上高と最終利益は四半期ベースで過去最高を更新した。
- **ニュース配信サービスを試験的に開始**: 19年10月にニュース配信サービスを米国で試験的に開始すると発表。コンテンツの拡充を図る。
- **政治広告の続行を表明**: 同社は議論を呼んでいる政治広告に関して、今後も継続する方針を表明。政治広告の透明性を高めて利用者の選択肢を増やすとした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	209.53 (01/30)	実績PER	24.5 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	224.2 (20/01/29)	株価売上高比率	8.5 (倍)	2018/12	55,838	37	24,913	23	15,920	39	7.57	0.00
52週安値(日付)	145.7 (19/01/30)	PBR	5.9 (倍)	2019/12	70,697	27	23,986	-4	18,485	-16	6.43	0.00
時価総額	5,973億ドル 65兆0,769億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	6.3 (過去6ヶ月間) 39.3 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	16,914	—	7,820	—	6,882	—	2.38	0.00
		株主資本利益率(ROE)	20.0 (%)	2019/Q4	21,082	25	8,858	13	7,349	7	2.56	0.00
		株式ベータ	1.18 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アップル(AAPL)

上場市場

ナスダック

セクター

IT機器

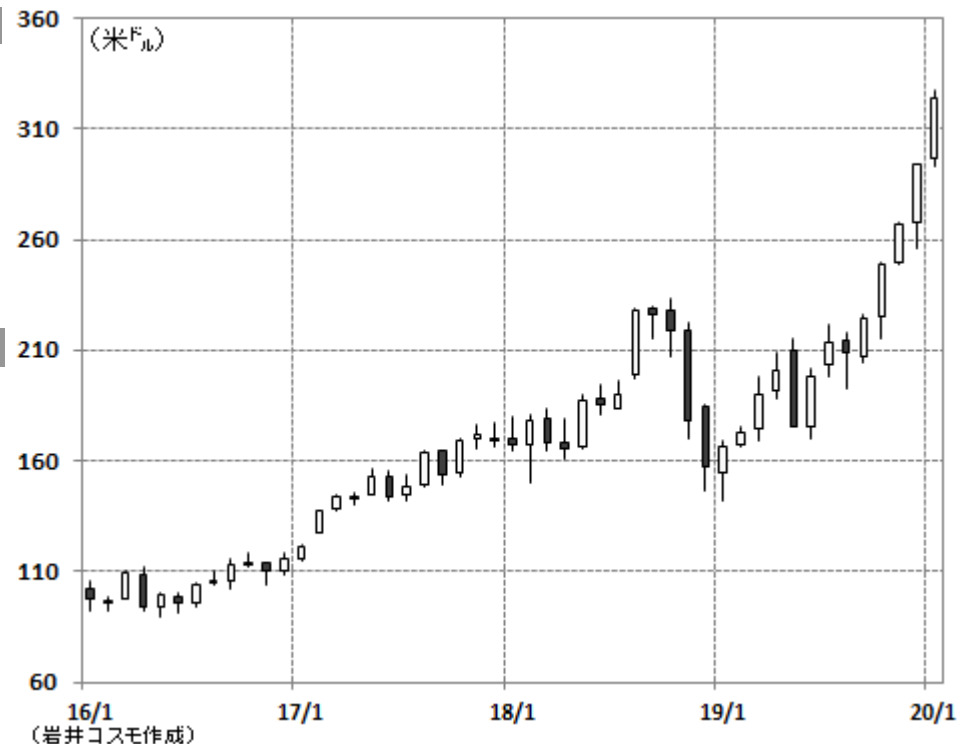
デジタルIT機器の設計・販売大手。収益の多様化が進む。5G対応iPhoneを投入予定

会社概要

スマートフォン(スマホ)「iPhone」や、タブレットPC「iPad」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、12年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。15年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

- **第1四半期、売上高、最終利益は過去最高を更新**: 19年10-12月期決算は、売上高が前年同期比9%増の918億ドル、純利益は同11%増の222億ドルと、ともに四半期ベースでの過去最高を更新。主力のiPhoneが5四半期ぶりに増収に転じ業績をけん引した。
- **5G対応iPhoneを20年後半に投入見込み**: 複数の市場観測では20年前半に廉価・小型版iPhone(SE後継機)を発売、20年後半に高速通信規格5G対応のiPhoneを数機種と市場投入するとの見方がある。前年度売上のうち、音楽配信やアプリ関連等のサービス収入が2割弱を占めるまで急成長したが、iPhone販売は全体の55%を占め依然、収益の柱。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	323.87 (01/30)
52週高値(日付)	327.85 (20/01/29)
52週安値(日付)	160.24 (19/01/30)
時価総額	1兆4,171億ドル 1,54兆4,058億円
株価変化率(%)	55.1 (過去6ヶ月間) 96.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	25.6 (倍)
株価売上高比率	5.5 (倍)
PBR	15.9 (倍)
税前提当利回り(%)	0.95 (直近年率)
配当成長率(%)	7.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	55.5 (%)
株式ベータ	1.08 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/09	265,595	16	70,898	16	59,531	23	11.91	2.72
2019/09	260,174	-2	63,930	-10	55,256	-7	11.89	3.04

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q1	84,310	—	23,346	—	19,965	—	4.18	0.73
2020/Q1	91,819	9	25,569	10	22,236	11	4.99	0.77

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

アマゾン・ドット・コム (AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

インターネット小売世界最大手。ネット通販とクラウド受託サービス事業双方が成長

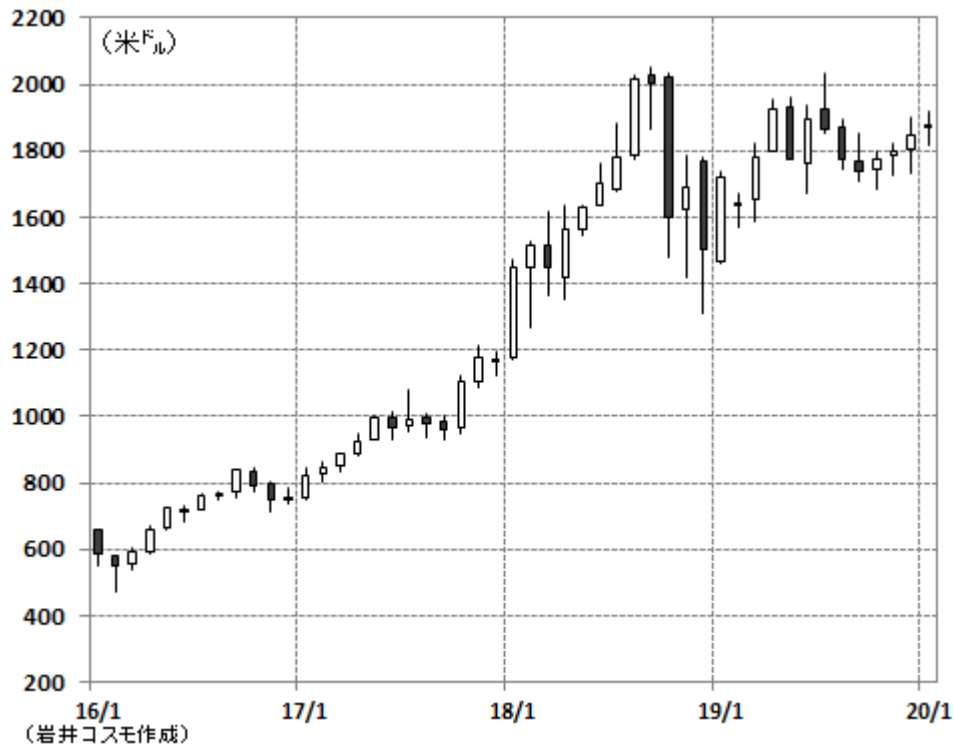
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、95年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は1.5億人を超え、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。近年はAI家電のスピーカー型のエコが世界中でヒット。本社はワシントン州シアトル。

注目ポイント

□ **利益の伸び悩み懸念を払拭する決算**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比21%増の874億ドル、純利益は同8%増の32.7億ドル、1株利益が6.47ドルと市場予想の4.11ドルを大きく上回る着地。書き入れ時の年末商戦でネット通販の利用が一段と広がった他、クラウドサービスも堅調に推移した。

□ **エッジコンピューティングでベライゾンと提携**: 同社のクラウドサービス部門 (AWS) は5Gの低遅延サービス提供でベライゾン・コミュニケーションズと提携した。IoT時代に遠隔地のサーバからの反応を待つことなく、利用者により近い場所でデータを迅速に処理する「エッジコンピューティング」分野で優位に立ちたい考えだ。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	1870.68 (01/30)
52週高値(日付)	2035.76 (19/07/11)
52週安値(日付)	1566.92 (19/02/08)
時価総額	9,275億ドル 1,01兆0,580億円
株価変化率(%)	-1.5 (過去6ヶ月間) 12.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	81.3 (倍)
株価売上高比率	3.3 (倍)
PBR	15.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	21.9 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	232,887	31	12,421	203	10,073	232	20.14	0.00
2019/12	280,522	20	14,541	17	11,588	15	23.01	0.00

四半期業績

2018/Q4	72,383	—	3,786	—	3,027	—	6.04	0.00
2019/Q4	87,437	21	3,879	2	3,268	8	6.47	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

ナスダック

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手。クラウド事業が好調

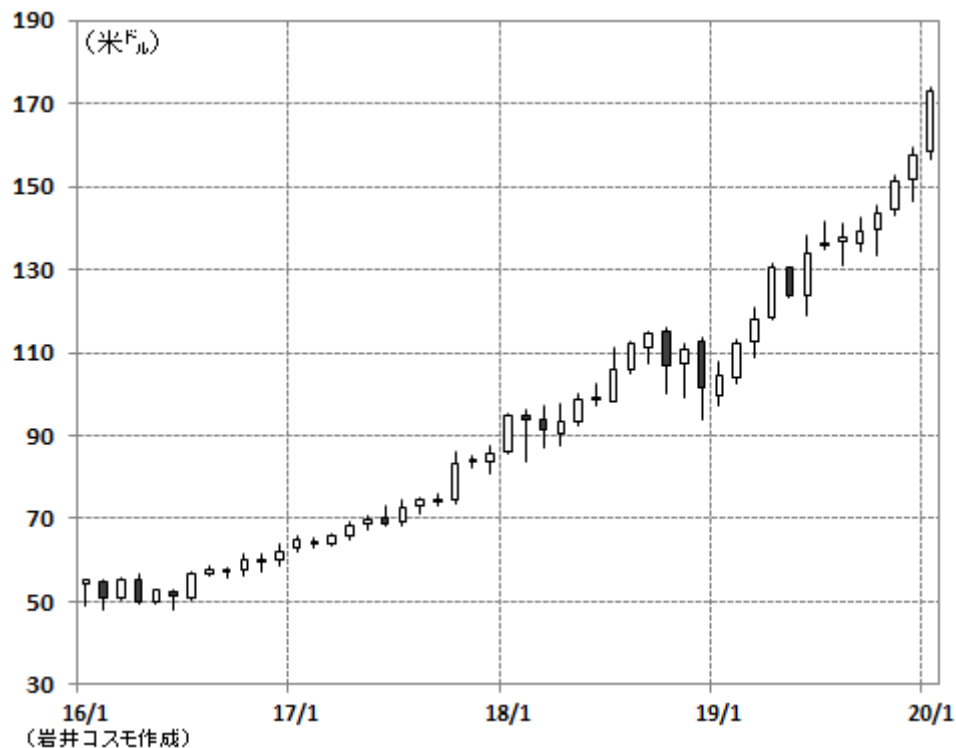
会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウィンドウズ(OS:基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したサテラ新CEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□**クラウド事業の拡大が奏功**: 同社はクラウドインフラ市場(IaaS)で首位アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。収益性の改善のため、製品からクラウドサービスに収益構造を移行中。特にワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」や、データ受託管理の「アジュール」、リンクインなどが好調。

□**米国防総省のクラウド事業を受注**: 米国防総省は同省のクラウドコンピューティング事業「共同防衛インフラ事業」の契約を同社に発注すると発表。同事業を巡っては、アマゾン・ドット・コムやオラクルなどと受注合戦を繰り広げていた。当初はアマゾン有利との見方もあったが、最終的に同社が競り勝つ結果となった。



株価チャート (2016以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	172.78 (01/30)
52週高値(日付)	174.05 (20/01/30)
52週安値(日付)	102.355 (19/02/01)
時価総額	1兆3,142億ドル 1,43兆1,923億円
株価変化率(%)	26.8 (過去6ヶ月間) 65.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	32.1 (倍)
株価売上高比率	9.8 (倍)
PBR	11.9 (倍)
税前提当利回り(%)	1.18 (直近年率)
配当成長率(%)	9.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	43.8 (%)
株式ベータ	1.06 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/06	110,360	14	35,058	21	16,571	-35	2.13	1.68
2019/06	125,843	14	42,959	23	39,240	137	5.06	1.84

四半期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2019/Q2	32,471	—	10,258	—	8,420	—	1.08	0.46
2020/Q2	36,906	14	13,891	35	11,649	38	1.51	0.51

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

セールスフォース・ドットコム(CRM)

顧客管理ソフトに強みを持つクラウド專業大手

上場市場

ニューヨーク

セクター

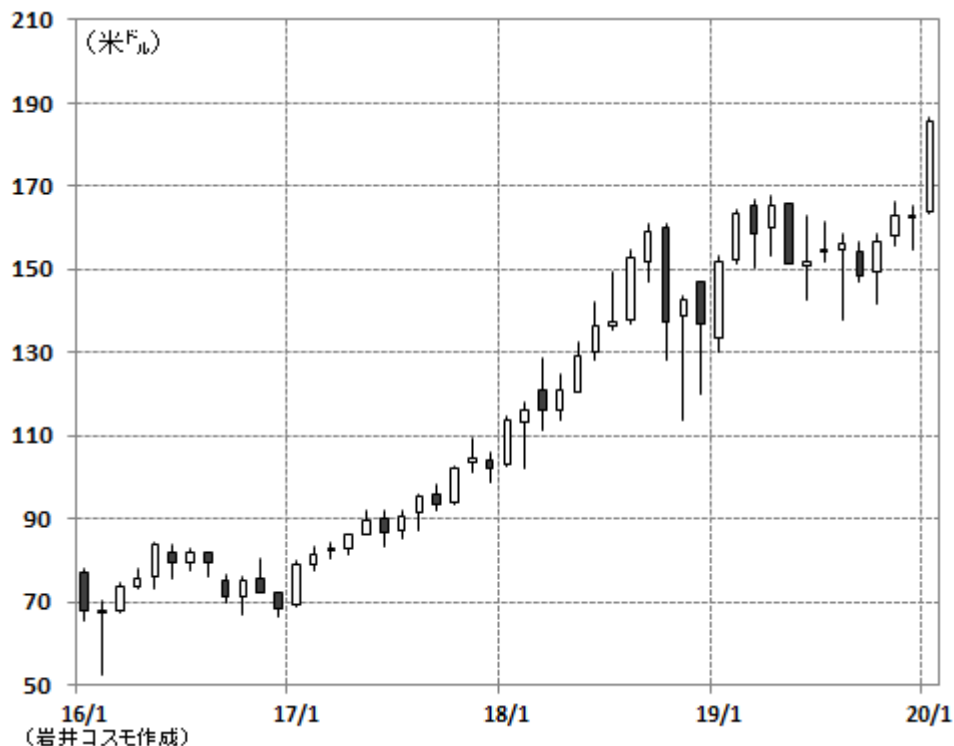
ソフトウェア

会社概要

インターネット経由でソフト機能を企業向けに提供するクラウドコンピューティング・サービスの專業大手で先駆的存在。CRM(顧客管理)や営業支援ツールはクラウドベースで世界で最も利用されており、日本ではトヨタ自動車、日本郵政グループなどが大手顧客。ほか中堅・中小企業まであらゆる業種・規模に対応。地域別売上構成(前期)は米州71%、欧州19%、アジア太平洋10%、99年設立、04年ニューヨーク上場。

注目ポイント

- **クラウド事業の先駆け、サービス範囲も拡大**: 営業支援・顧客管理を柱に複数のサービスを組み合わせた販売が奏功、カスタマーサービスやクラウドアプリ開発支援、マーケティング分野のクラウド事業も伸びている。顧客はセールスフォースを選ぶ理由として、自社の売上拡大や顧客満足度やマーケティング能力の向上、システムの利用し易さ等を挙げている。
- **タブロー・ソフトウェア買収**: 同社はデータ分析ツールのタブロー・ソフトウェアを19年8月に買収した。タブローは企業向けにデータ分析ツールを提供しており、同社が得意としている顧客管理やマーケティング支援と組み合わせることによって、より付加価値の高いサービスの提供を目指す。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	185.67 (01/30)	実績PER	319.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	186.4 (20/01/22)	株価売上高比率	9.4 (倍)	2018/01	10,540	25	454	108	360	黒転	0.49	0.00
52週安値(日付)	137.88 (19/08/14)	PBR	4.9 (倍)	2019/01	13,282	26	535	18	1,110	208	1.43	0.00
時価総額	1,647億ドル 17兆9,445億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	18.3 (過去6ヶ月間) 24.5 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2019/Q3	3,392	—	92	—	105	—	0.13	0.00
		株主資本利益率(ROE)	3.1 (%)	2020/Q3	4,513	33	65	-29	-109	赤転	-0.12	0.00
		株式ベータ	1.27 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

電子計測機器の世界最大手。次世代通信5G投資の恩恵を享受

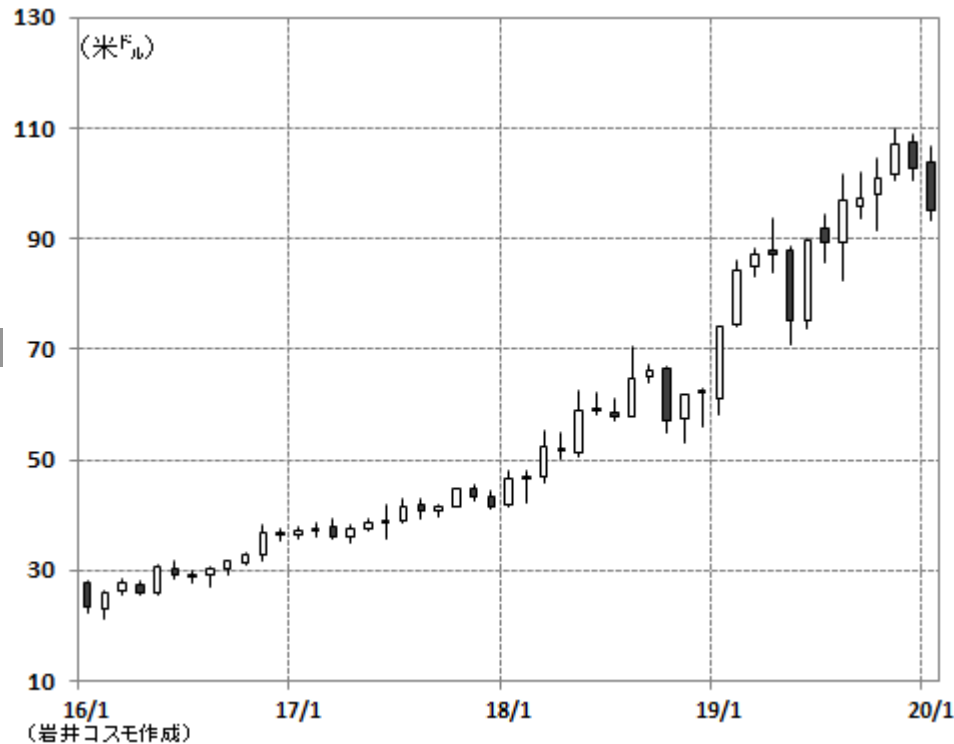
会社概要

電子計測器の世界最大手。14年に総合分析機器のアシレント・テクノロジーズから分離独立。アシレント・テクノロジーズ自体も1999年にヒューレット・パッカドの分離独立企業であり、名門の流れを受け継ぐ。豊富な人材と技術を武器に電子計測機器の販売や専門性の高いコンサルサービスを提供。17年にソフトウェアの検査・評価に強みを持つイクシア社を買収し業容の拡大を図る。従業員数は約13,600名(19年10月末)。

注目ポイント

□ **5G時代の恩恵を享受**: 売上の約3割強を占める通信分野向け事業は、通信事業者向けに様々な通信計測機器の販売やコンサルティング業務を展開。19年8-10月期決算では、売上高は前年同期比7%増の11.2億ドル、純利益は同黒字転換の1.95億ドル、一部項目を除く調整後1株利益は同32%増の1.33ドルだった。次世代通信規格「5G」の需要が旺盛で、通信企業向けの機器売上が好調だった。

□ **計測器の世界的なガリバー**: 通信分野での世界シェアは25%(同社推定)で世界トップ。キーサイトはNTTドコモ、ソフトバンクや韓国サムスン電子などの世界中の企業と提携、協業を加速させている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	95.29 (01/30)	実績PER	28.2 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	110 (19/11/18)	株価売上高比率	4.2 (倍)	2018/10	3,878	22	-346	赤転	165	62	0.86	0.00
52週安値(日付)	71.04 (19/05/29)	PBR	6.1 (倍)	2019/10	4,303	11	711	黒転	621	276	3.25	0.00
時価総額	180億ドル 1兆9,566億円	税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	4.5 (過去6ヶ月間) 30.0 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	1,047	—	-580	—	-114	—	-0.61	0.00
		株主資本利益率(ROE)	22.8 (%)	2019/Q4	1,120	7	208	黒転	195	黒転	1.02	0.00
		株式ベータ	1.14 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

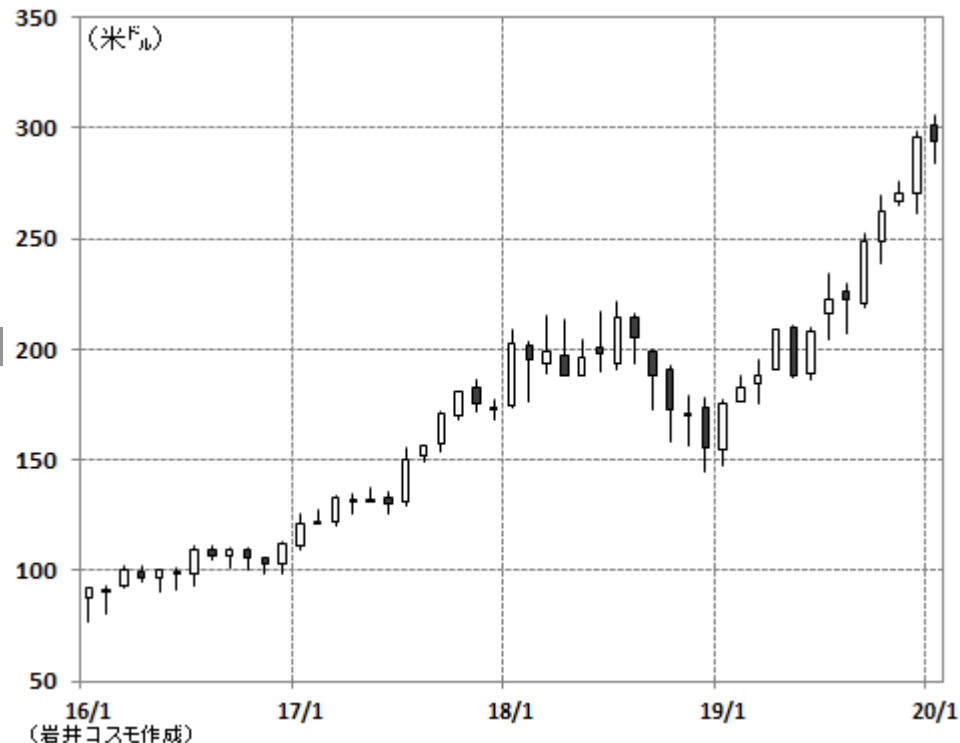
オランダの半導体製造装置世界大手。「EUV露光」の唯一のメーカー

会社概要

オランダの半導体製造装置メーカー。半導体製造工程の前工程の装置メーカーの2018年の売上規模で、首位の米アプライト・マテリアルズに次ぐ2位に位置する。半導体の回路をシリコンウエハ上に焼き付ける露光装置のシェアの約8割を抑える。1984年オランダのフィリップス社と半導体商社ASMインターナショナルに折半出資された会社が起源。本社はオランダ・フェルトホフェン、従業員数は24,900人(19年12月末)。

注目ポイント

- **EUV露光で世界をリード**: 世界で唯一単独供給する「EUV露光装置」は、光源に屈折率の大きな極端紫外線を用いて、より細かい電子回路を焼き付けることが可能であり、先端半導体の開発に大きく貢献。「EUV露光装置」は巨額な研究開発費もあり、1台1億ユーロ以上と高額だが、前19年度は26台、金額にして28億ユーロを出荷。
- **第4四半期(10-12月)業績**: 19年10-12月期は売上高が前年同期比28%増の40.4億ユーロ、純利益が同44%増の11.3億ユーロだった。業績に先行する新規受注額は前四半期比51%増の24億ユーロ。今20年度はEUV露光装置を35台出荷、約45億ユーロの販売を想定している。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	294.38 (01/30)
52週高値(日付)	305.83 (20/01/14)
52週安値(日付)	173.74 (19/01/30)
時価総額	1,253億ドル 13兆6,533億円
株価変化率(%)	28.9 (過去6ヶ月間) 66.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	43.3 (倍)
株価売上高比率	9.5 (倍)
PBR	9.0 (倍)
税前配当利回り(%)	1.02 (直近年率)
配当成長率(%)	38.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	20.3 (%)
株式ベータ	1.18 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ユーロ)	前同比 (%)	営業利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	当期利益 (百万ユーロ)	前同比 (%)	1株利益 (ユーロ)	配当 (ユーロ)
2018/12	10,944	22	2,965	22	2,592	25	6.08	1.40
2019/12	11,820	8	2,791	-6	2,592	0	6.15	3.15
四半期業績								
2018/Q4	3,143	—	818	—	788	—	1.86	—
2019/Q4	4,036	28	1,277	56	1,134	44	2.69	1.05

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

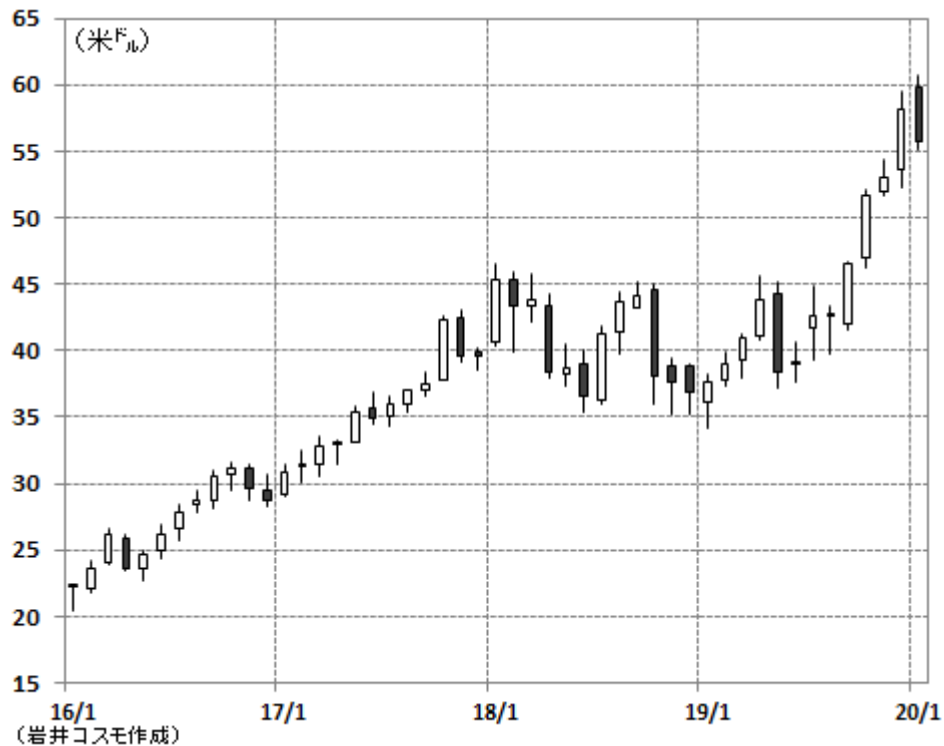
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

顧客の製品製造を受託する、専門ファウンドリ・ビジネスの先駆企業。TSMCブランドでの設計、製造、販売を一切行なわないことで、顧客との競争を排除。世界最大の半導体製造ファウンドリとして、2018年には481の顧客企業を対象に、10,436個の製品を製造。同社が製造する半導体はコンピュータ、通信、産業向けと多岐に渡り、あらゆる場面で使用されている。

注目ポイント

- **主要顧客は世界的企業**: 主要顧客には、アップル、クアルコム、ファーウェイ、エヌビディア、アドバンスト・マイクロ・デバイス等、世界的大企業が名を連ねている。これらの企業はスマホ、サーバ等で使用される最高水準の半導体の製造を同社に委託している。中でも最大顧客のアップルは全売上高の20%程度を占めていると見られる。
- **微細化プロセスで先行**: 半導体業界では現在7nm製造プロセスへの移行を急速に進めているが、多くの企業は実現出来ておらず、同社は7nmプロセスで業界をリードする存在。2020年前半には5nmプロセス製品の量産を開始すべく、その準備を着々と進めている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	55.8 (01/30)	実績PER	25.4 (倍)	決算期	売上高	前同比	営業利益	前同比	当期利益	前同比	1株利益	配当
52週高値(日付)	60.64 (20/01/14)	株価売上高比率	8.2 (倍)		(百万台湾ドル)	(%)	(百万台湾ドル)	(%)	(百万台湾ドル)	(%)	(台湾ドル)	(台湾ドル)
52週安値(日付)	37.185 (19/05/29)	PBR	5.4 (倍)	2018/12	1,031,474	—	383,624	—	351,131	—	67.71	40.00
時価総額	2,894億ドル	税前配当利回り(%)	2.94 (直近年率)	2019/12	1,069,985	4	372,701	-3	345,264	-2	66.58	50.00
	31兆5,312億円	配当成長率(%)	13.1 (過去1年間)	四半期業績								
株価変化率(%)	30.9 (過去6ヶ月間)	株主資本利益率(ROE)	20.9 (%)	2018/Q4	289,770	—	107,123	—	99,984	—	19.28	—
	48.3 (過去1年間)	株式ベータ	0.90 (対S&P500)	2019/Q4	317,237	9	124,244	16	116,035	16	22.37	12.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

クアルコム(QCOM)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

5G対応スマートフォンの生産拡大で恩恵享受へ

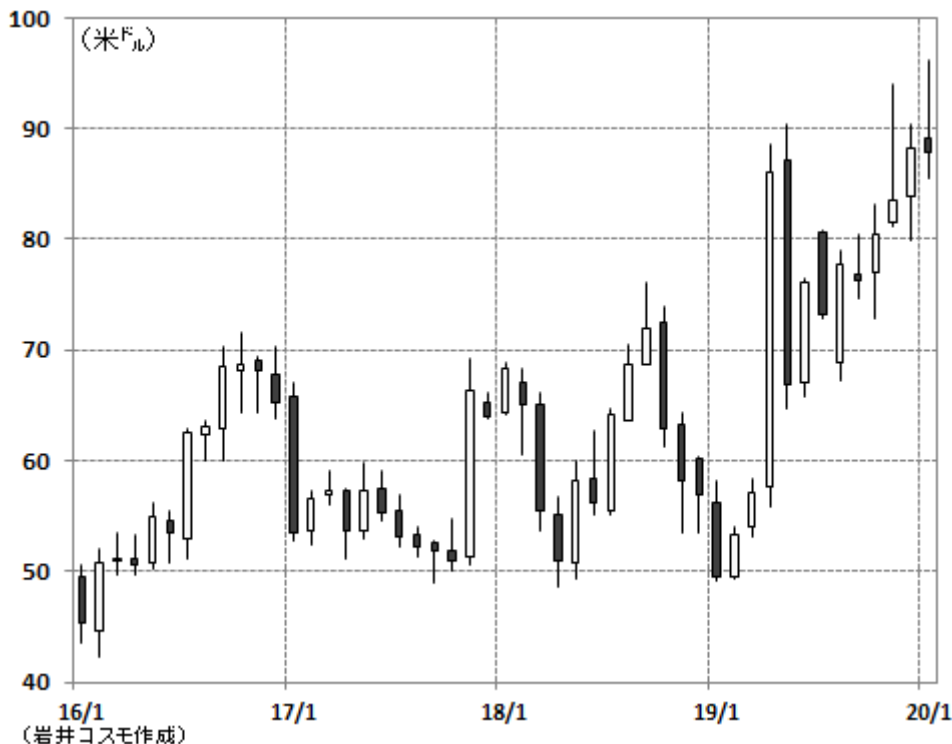
会社概要

1985年創業の移動体通信技術で強みを持つ米半導体大手。CDMA(符号分割多重接続)方式やOFDMA(直交周波数分割多元接続)方式の無線通信の知的財産をライセンス供与。携帯端末メーカーへ自社開発半導体の販売とライセンス供与先メーカーの携帯電話端末販売台数に対する特許料収入が収益の柱。5G関連の通信分野の特許も多数保有。従業員数は約37,000人(19年9月末時点)。

注目ポイント

□ **アップルと電撃和解**: 巨額のライセンス契約の支払いを巡り2年前から訴訟合戦を繰り広げたアップルと同社は19年4月に全面的に和解。アップルが一時金を支払い、複数年契約を締結。電波の送受信を担うアンテナと頭脳のプロセッサとの間でデータをやり取りする5G対応の通信モデムをアップルのiPhone向けに供給することになった。

□ **5G対応に伴う恩恵を享受**: 前回決算時に同社製チップ搭載の5G開発モデルが230種まで増えたこと、主要メーカーが同社の5G通信モデム・チップセットと電波を捉えるアンテナの両方を採用しているとした。また20年の5G対応スマホは全世界で最高2.25億台出荷されると予想。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	87.78 (01/30)	実績PER	13.3 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	96.165 (20/01/17)	株価売上高比率	4.4 (倍)	2018/09	22,611	2	621	-76	-4,964	赤転	-3.39	2.38
52週安値(日付)	49.1 (19/01/31)	PBR	20.5 (倍)	2019/09	24,273	7	7,667	1,135	4,386	黒転	3.59	2.48
時価総額	1,003億ドル 10兆9,258億円	税前配当利回り(%)	2.83 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	17.3 (過去6ヶ月間) 75.0 (過去1年間)	配当成長率(%)	2.1 (過去1年間)	2018/Q4	5,778	—	-679	—	-513	—	-0.36	0.62
		株主資本利益率(ROE)	153.5 (%)	2019/Q4	4,814	-17	701	黒転	506	黒転	0.42	0.62
		株式ベータ	1.00 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ブロードコム(AVGO)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体

アップルの有力サプライヤー。IoT(モノのインターネット)拡大の恩恵享受

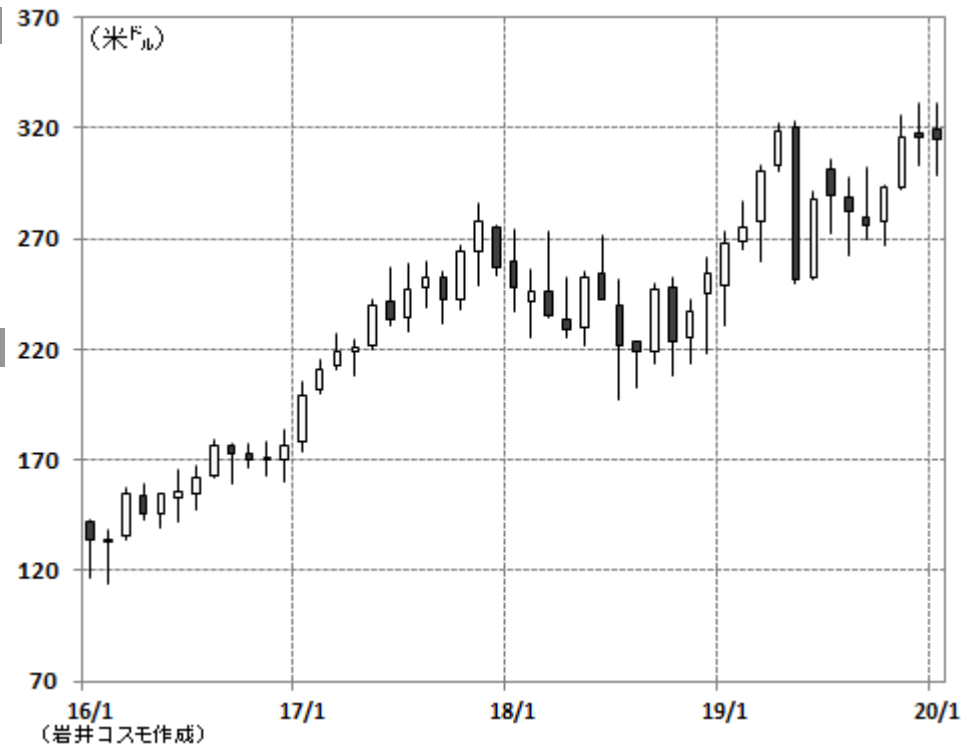
会社概要

16年2月にアバコ・テクノロジーが旧ブロードコムを買収してできた通信用半導体大手。中核技術は、WiFi/Bluetooth/GPU、ブロードバンドモデムネットワーク機器搭載の半導体等。18年11月に基幹システム開発ソフトのCAテクノロジーを、19年11月にシマンテックの法人部門を買収したことで、半導体事業が売上全体の7割、ソフトウェアが3割の収益構造となる。世界有数の情報インフラ技術をリードする会社を目指す。

注目ポイント

□ **「IoT(モノのインターネット化)」や「5Gスマホ」の恩恵享受**: 高速通信規格5G対応の短距離無線通信のWi-Fiやブルートゥース関連半導体を充実化。あらゆるモノがネットに接続するIoT時代となり、大規模データセンターのネットワーク機器向けの汎用ASIC(特定用途集積回路)等を中心に同社の高性能半導体の需要拡大が期待される。

□ **シマンテックの法人部門を取得**: ブロードコムは19年8月にセキュリティ大手のシマンテックの法人部門を現金107億ドルで買収すると発表、11月に買収手続きを完了した。買収を通じて年間18億ドルの増収効果と、1年以内の約10億ドルの統合によるコスト削減を見込むとした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	315.2 (01/30)	実績PER	36.7 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	331.58 (20/01/24)	株価売上高比率	5.6 (倍)	2018/10	20,848	18	5,135	117	12,259	625	28.44	7.00
52週安値(日付)	250.09 (19/05/28)	PBR	5.9 (倍)	2019/10	22,597	8	3,444	-33	2,695	-78	6.43	10.60
時 価 総 額	1,254億ドル 13兆6,619億円	税前配当利回り(%)	4.12 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	5.2 (過去6ヶ月間) 16.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	41.8 (過去1年間)	2018/Q4	5,444	—	1,652	—	1,115	—	2.64	1.75
		株主資本利益率(ROE)	11.3 (%)	2019/Q4	5,776	6	1,054	-36	818	-27	1.97	2.65
		株式ベータ	0.97 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

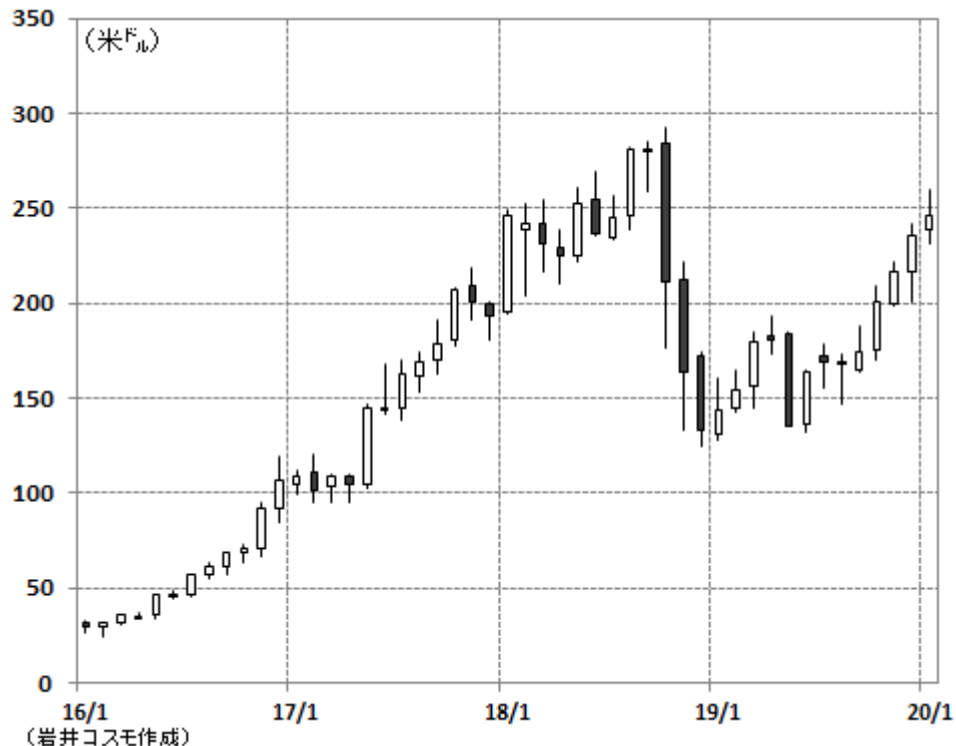
「人工知能(AI)」、「自動運転」の新市場に半導体を供給

会社概要

1993年設立の米国の半導体メカ。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行わないファブレスメカで台湾セミコンダクタや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成はゲーム市場向けが53%、視覚化技術に関するプロ向けが10%、AI含むデータセンター向けが25%、自動車向けが5%、OEM&IPが7%(19年1月期)。

注目ポイント

- 「AI」の計算処理に同社GPUが活躍: IBMやアマゾン、マイクロソフト、アルファベットなどのIT大手各社は「深層学習(自ら学ぶ)」といった新技術を用いた人工知能の計算処理に同社半導体を利用している。
- 19年11-1月期は5四半期ぶりの増収見込み: 19年8-10月期決算は売上高が前年同期比5%減の30.1億ドル、純利益が同27%減の8.99億ドル、一部項目を除く調整後1株利益が同3%減の1.78ドルだった。続く19年11月-20年1月期は売上高で同31~36%増の28.9~30.1億ドルを見込み、5四半期ぶりの増収見通しを示し、データセンター向けの力強い成長がけん引役になるとした。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	245.81 (01/30)
52週高値(日付)	259.49 (20/01/24)
52週安値(日付)	131.46 (19/01/30)
時価総額	1,504億ドル 16兆3,915億円
株価変化率(%)	40.1 (過去6ヶ月間) 78.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	67.8 (倍)
株価売上高比率	14.9 (倍)
PBR	13.4 (倍)
税前提当利回り(%)	0.26 (直近年率)
配当成長率(%)	4.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.3 (%)
株式ベータ	1.57 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/01	9,714	41	3,210	66	3,047	83	4.82	0.570
2019/01	11,716	21	3,804	19	4,141	36	6.63	0.570
四半期業績								
2019/Q3	3,181	—	1,058	—	1,230	—	1.97	0.150
2020/Q3	3,014	-5	927	-12	899	-27	1.45	0.160

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)
ザイリンクス(XLNX)

上場市場
ナスダック

セクター
半導体製造

ソフトウェアにより回路を変更することができる半導体の大手。データセンターや5G関連の恩恵享受

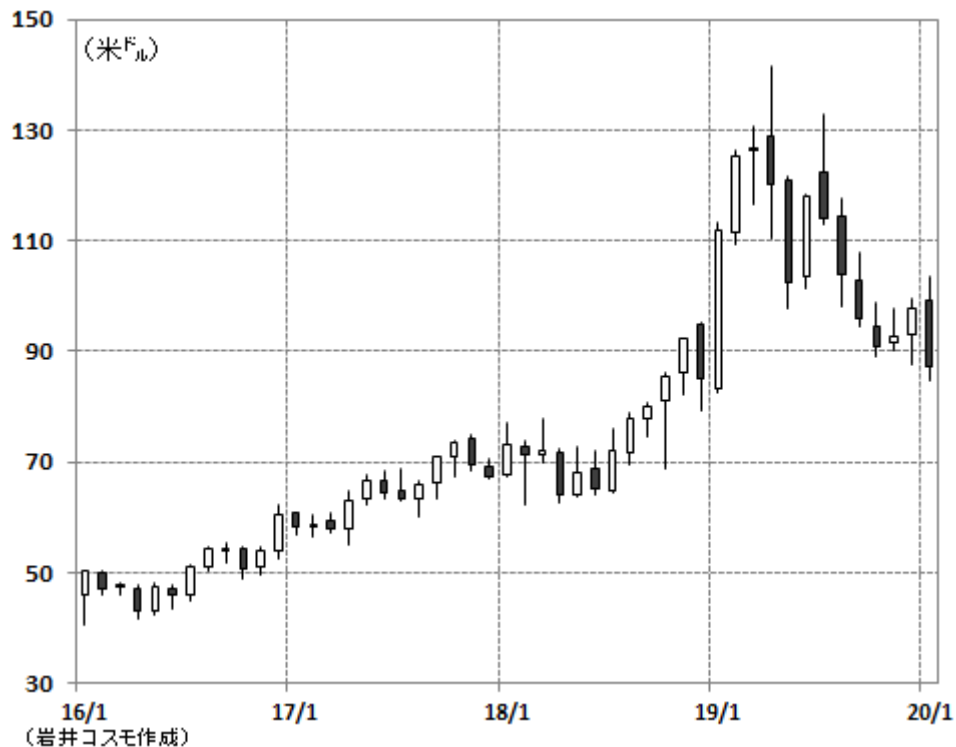
会社概要

ユーザー自身が論理回路をソフトウェアで設定することが可能なロジックLSI(大規模集積回路)であるPLD(プログラム可能論理デバイス)の大手。PLDの中でも機器に組み込まれた状態で回路変更が可能なFPGAの最大手。生産は主に台湾TSMCに委託し、自社生産設備をもたないファブレスメーカー。1984年創業、本社はカリフォルニア州、従業員数は4,433名(19年3月時点)。

注目ポイント

□**データセンターや5G関連の恩恵を享受**: PLD半導体は、回路が固定されてない大規模集積回路であり、ソフトウェアにより回路を何度も変更することができる特長を持つ。携帯電話の基地局やデジタル家電の試作品向け等に広く使われてきた。近年はデータセンターの計算処理にもPLDの一種であるFPGAが採用され、用途が拡大中。

□**ファウエイの影響について**: 19年5月に米商務省の措置を受けてファウエイと出荷制限により現在ファウエイからの売上は見込んでいない(ファウエイは自社半導体製品の採用を進めている)。ザイリンクスは別の通信機器メーカーの基地局向けに来21年度の後期に次世代製品を提供する予定。来21年3月期は前期比「2桁成長」を目指している。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	87.2 (01/30)	実績PER	25.4 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	141.59 (19/04/24)	株価売上高比率	6.8 (倍)	2018/03	2,467	—	686	—	464	—	1.80	1.32
52週安値(日付)	84.75 (20/01/30)	PBR	8.2 (倍)	2019/03	3,059	24	957	39	890	92	3.47	1.40
時価総額	217億ドル 2兆3,643億円	税前提当利回り(%)	1.70 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-27.0 (過去6ヶ月間) -22.7 (過去1年間)	配当成長率(%)	2.8 (過去1年間)	2019/Q3	800	—	258	—	239	—	0.93	0.36
		株主資本利益率(ROE)	33.2 (%)	2020/Q3	723	-10	159	-38	162	-32	0.64	0.37
		株式ベータ	1.01 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ウェスタン・デジタル(WDC)

上場市場

ナスダック

セクター

ストレージ(記憶装置)

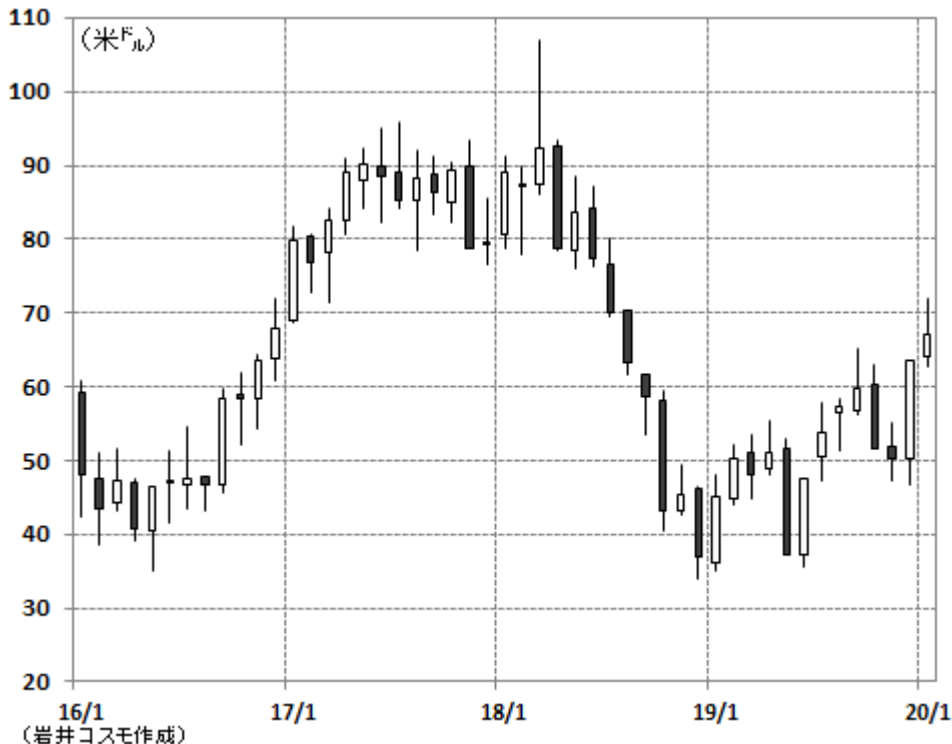
HDDやフラッシュメモリの業界大手。スマホやエッジコンピューティング市場の成長の恩恵享受

会社概要

HDD(ハードディスク駆動装置)業界2位、NAND型フラッシュメモリ業界3位のストレージ製品の世界大手。ストレージ製品世界売上では韓国サムスン電子に次ぐ規模。PC産業が隆盛となった90年代にHDD事業に専念、2011年に日立製作所からHDD部門を買収、2016年に米サンディスクを買収し、フラッシュメモリ事業を取得。本社はカリフォルニア州サンゼ、19年6月末の社員数は約61,800名。

注目ポイント

- **サンディスクを買収、フラッシュメモリ事業進出**: 16年5月に当時フラッシュメモリの大手で旧東芝メモリ(現キオクシア)と協業していたサンディスクを買収。フラッシュメモリを用いた新しい記憶装置SSD(ソリッドステートドライブ)分野を強化、HDDとSSDの統合型製品を提供できる同社の強みとなった。製品別売上構成(前期)はHDD53%、フラッシュメモリ47%。同買収後はSSDを含むフラッシュメモリ部門を強化中。
- **エッジコンピューティングや5Gスマホの市場成長の恩恵享受**: クラウド市場の拡大に加えて自動運転等で高まるエッジ(端末側)の処理需要の高まりや5G対応のスマホによるストレージ製品の市況改善に期待。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	66.96 (01/30)
52週高値(日付)	72 (20/01/23)
52週安値(日付)	35.61 (19/06/17)
時価総額	199億ドル 2兆1,699億円
株価変化率(%)	18.3 (過去6ヶ月間) 52.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	- (倍)
株価売上高比率	1.3 (倍)
PBR	2.1 (倍)
税前配当利回り(%)	2.99 (直近年率)
配当成長率(%)	0.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	-14.7 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/06	20,647	8	3,617	85	675	70	2.20	2.00
2019/06	16,569	-20	87	-98	-754	赤転	-2.58	2.00
四半期業績								
2019/Q2	4,233	—	176	—	-487	—	-1.68	0.50
2020/Q2	4,234	0	50	-72	-139	赤継	-0.47	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

インテュイティブ・サージカル(ISRG)

上場市場

ナスダック

セクター

医療設備

外科手術ロボットを製造・販売。手術件数の伸びが日本など海外中心に伸長

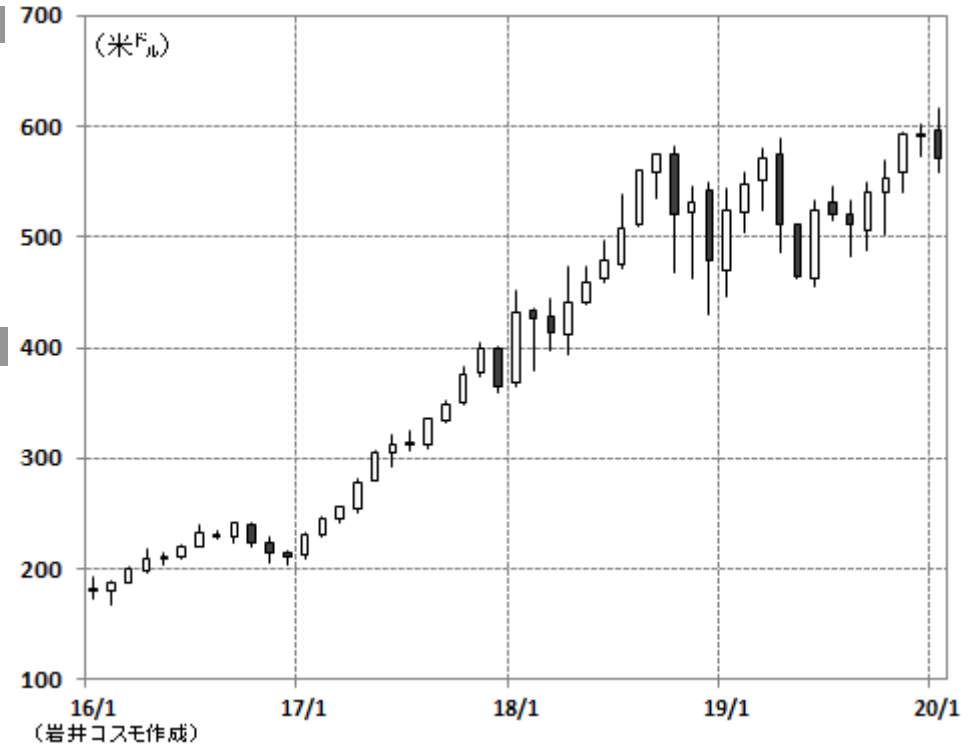
会社概要

「ダ・ヴィンチ」手術システム(遠隔操作型の外科手術ロボット)を製造・販売する。切開部分は小さく、患者に負担の少ない手術を提供するのが特徴。日本の病院でも同社ロボット手術が普及。19年末時点の稼働状況は、全世界で5,582台、うち米国3,531台、海外が2,051台。19年度全世界の手術件数実績は約123万件。日本は約350台以上が設置され、手術の保険適用の範囲が広がる有望市場。

注目ポイント

□ **体への負担の少ない医療を実現するロボット**: 手術ロボット「ダ・ヴィンチ」は執刀医の手の動きに連動した4本のロボットアームに手術器具が装着され、執刀医は手術台から離れた机で3次元映像を見ながらアームを遠隔操作する。切開部分が小さく、体内の細かい操作が可能で出血量や手術後の痛みを減らせるほか、入院期間の短縮、後遺症も少ないなど患者側に利点が多いとされる。

□ **手術件数と出荷台数の伸びが奏功**: 19年10-12月期の売上高が前年同期比22%増の12.8億ドル、純利益が同22%増の3.58億ドル。出荷台数は同16%増の336台を記録。売上成長の目安となる20年の「ダ・ヴィンチ」手術件数は前期比13~16%増の見通しを提示。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ

株 価(米ドル)	570.84 (01/30)
52週高値(日付)	616.56 (20/01/10)
52週安値(日付)	455.34 (19/06/03)
時 価 総 額	660億ドル 7兆1,885億円
株価変化率(%)	7.4 (過去6ヶ月間) 12.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	51.7 (倍)
株価売上高比率	14.7 (倍)
PBR	8.0 (倍)
税前提当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.4 (%)
株式ベータ	1.29 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	3,724	19	1,199	13	1,128	68	9.49	0.00
2019/12	4,479	20	1,375	15	1,379	22	11.54	0.00

四半期業績

2018/Q4	1,047	—	332	—	293	—	2.45	0.00
2019/Q4	1,278	22	398	20	358	22	2.99	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ビザ(V)

上場市場

ニューヨーク

セクター

決済サービス

クレジットカード決済サービス世界最大手。現金から電子決済への移行による恩恵を享受

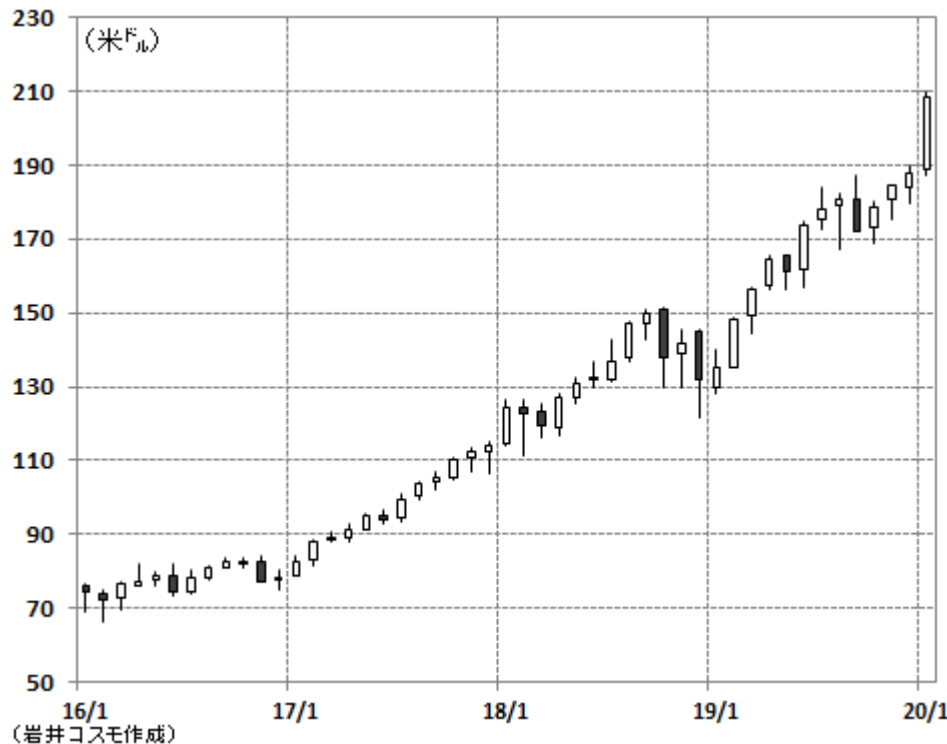
会社概要

クレジットカード決済サービス世界最大手。200カ国・地域で認証ネットワーク「ビザ・ネット」を展開。デビットカードやプリペイドカード、ATM決済サービスも手掛ける。カード総発行枚数は33.9億枚(19年9月末)。カードの決済サービスのみを行い、与信業務は銀行が行う仕組みであるため、事業リスクが比較的小さい。現金から電子決済への移行による恩恵を享受。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **19年10-12月期は13%増収**：19年10-12月期は、前年同期比10%増収、純利益が同10%増益。収入の源泉となる総取引高は、主要国である米国で同7%増と堅実な伸び、欧州が同5%増、アジアが同3%増と続いた。為替変動を除く、20年9月通期の成長率見通しを営業収益で前期比「10%台前半の増加」とした上で、調整後1株利益を「10%台半ばの増加」としている。

□ **「タッチ決済(非接触型決済)」が主流に**：マイクロチップ搭載のカードで読取装置にかざして小額決済する仕組みが一般的になっており、20年までに全世界のカードの半分が「タッチ決済」対応となる予定。利用者の簡便性の向上共に、キャッシュレス化に弾みがつく見込み。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	208.21 (01/30)	実績PER	37.8 (倍)	決算期	営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	210.13 (20/01/22)	株価売上高比率	17.6 (倍)	2018/09	20,609	12	12,954	7	10,301	54	4.42	0.88
52週安値(日付)	133.3 (19/01/31)	PBR	14.1 (倍)	2019/09	22,977	11	15,001	16	12,080	17	5.32	1.05
時価総額	4,099億ドル 44兆6,582億円	税前配当利回り(%)	0.58 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	14.7 (過去6ヶ月間) 51.3 (過去1年間)	配当成長率(%)	19.3 (過去1年間)	2019/Q1	5,506	—	3,717	—	2,977	—	1.30	0.25
		株主資本利益率(ROE)	41.8 (%)	2020/Q1	6,054	10	4,016	8	3,272	10	1.46	0.30
		株式ベータ	1.03 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ペイパル・ホールディングス(PYPL)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネットサービス

オンライン決済サービス大手。安心、簡単、受渡し保証などを武器に勢力拡大中

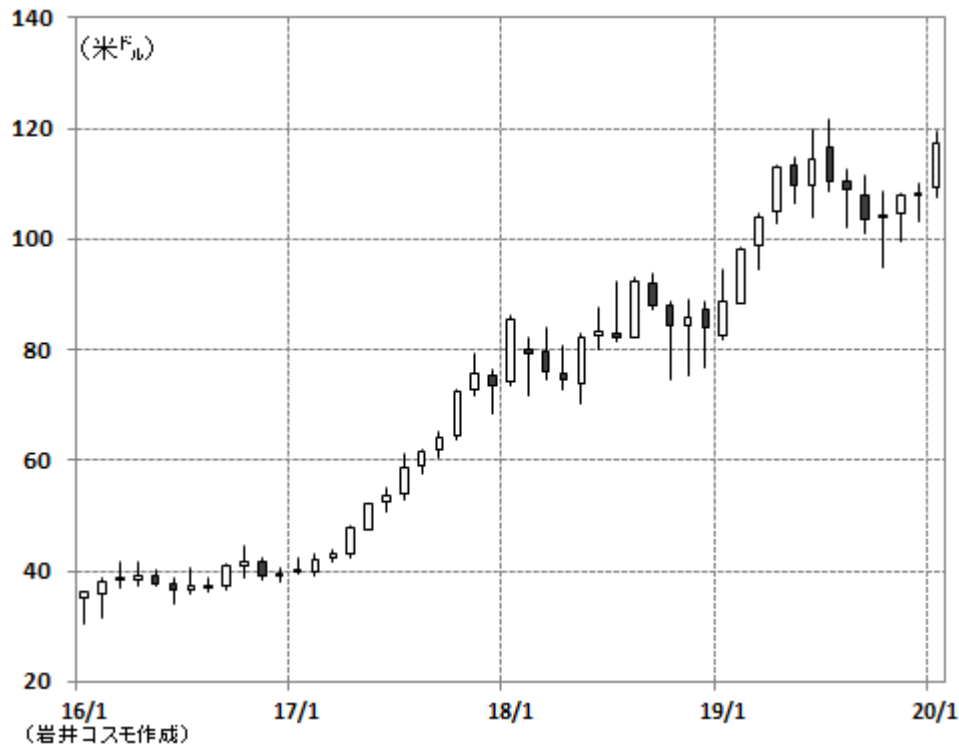
会社概要

98年創業の米オンライン決済サービス大手。02年にイーベイにより買収され、15年7月に分離・独立した。事前登録したクレジットカードや銀行口座を用いてネットで代金決済するサービス等を展開、決済の堅固な安全性や利便性の高さが特徴。19年の取引処理件数は前年比25%増の124億件。世界の100以上の通貨の支払いに対応。地域別売上構成は米国が53%、その他が47%(19年実績)。

注目ポイント

□ **高水準の成長性を維持**: 19年10-12月期の売上高は前年同期比17%増、営業利益は同34%増益。総決済金額は同22%増の1,994億ドル、取引件数は同21%増の35億件と堅調。個人間の送金アプリの「ペンモ」による決済金額は同56%増の290億ドルと、引き続き高水準の伸びを維持。オンライン小売業者中心に現在2,400万の加盟店を抱えており、決済業界の中で存在感を高めている。

□ **価格比較・クーポン情報企業を買収**: 20年1月にショッピングサイトの価格比較やクーポン情報提供を手掛ける「ハニー・サイエンス」を約40億ドルで買収。個々の利用者ニーズに沿った情報を提供し、決済手段としての価値を高め、ユーザー数の獲得増につなげたい考え。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株 価(米ドル)	117.12 (01/30)	実績PER	57.8 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	121.48 (19/07/16)	株価売上高比率	7.7 (倍)	2018/12	15,451	18	2,194	3	2,057	15	1.71	0.00
52週安値(日付)	86.67 (19/01/31)	PBR	8.1 (倍)	2019/12	17,772	15	2,719	24	2,459	20	2.07	0.00
時 価 総 額	1,374億ドル 14兆9,691億円	税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	4.5 (過去6ヶ月間) 26.7 (過去1年間)	配当成長率(%)	— (過去1年間)	2018/Q4	4,226	—	598	—	584	—	0.49	0.00
		株主資本利益率(ROE)	15.2 (%)	2019/Q4	4,961	17	799	34	507	-13	0.43	0.00
		株式ベータ	1.09 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ロッキード・マーティン(LMT)

上場市場

ニューヨーク

セクター

防衛元請

防衛元請の世界最大手。海外向け輸出の増加期待

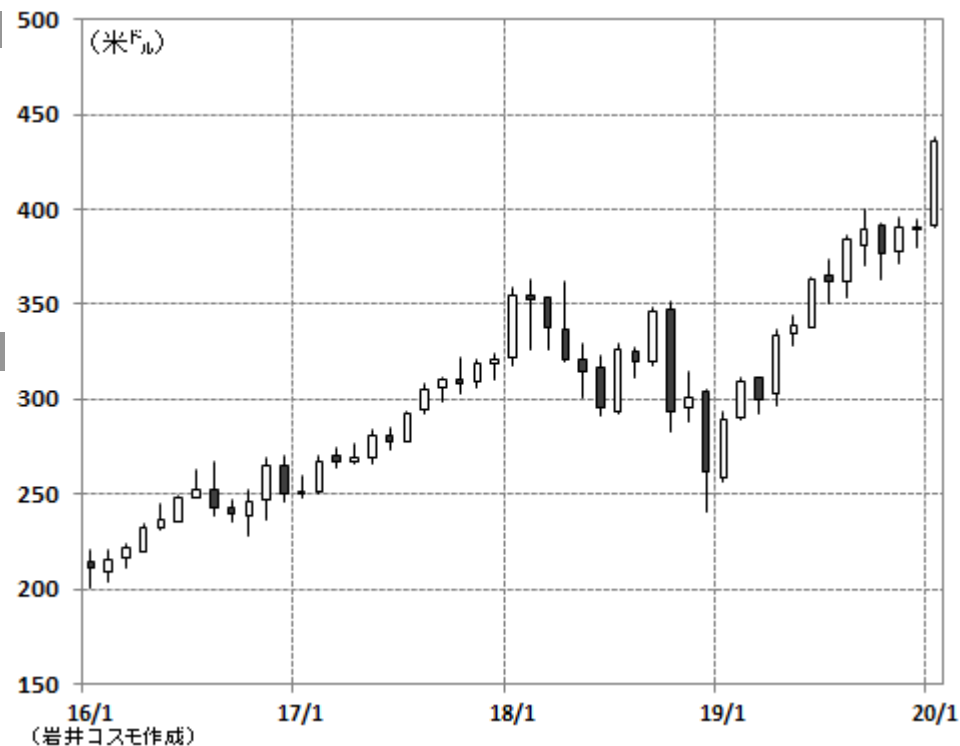
会社概要

世界最大の防衛元請企業。戦闘機が主力の「航空」部門、衛星や宇宙船を手掛ける「宇宙システム」、「情報システム」、「ミサイル・火器」、戦艦やヘリ搭載の武器やレーダーを製造する「ミッション・システム」の5つの部門からなる。15年11月にヘリ製造のソルスキ-を買収、16年8月に「情報システム」を分離。18年売上高構成の70%が米政府向け、外国政府向けを含む海外が28%、米民間向け・その他は2%。

注目ポイント

□ **次期主力戦闘機の量産化による成長期待**: 米・英・日で次期主力戦闘機となる「F-35ライトニング II」の主契約企業として量産化が進み、さらなる航空部門の拡大が期待される。1月28日発表の決算では20年度通期の売上高見通しを627.5~642.5億ドルとし、従来の620億ドルから上方修正した。

□ **米国防予算拡大、宇宙軍創設**: 19年12月に米議会は2020会計年度(10月1日から9月30日)の歳出法案を可決、国防総省向けは前年比220億ドル増の7,380億ドルとなった。またトランプ政権は宇宙軍を創設、宇宙空間の軍事利用を進める中国やロシアに対抗する。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	435.9 (01/30)
52週高値(日付)	438.41 (20/01/28)
52週安値(日付)	286.97 (19/01/30)
時価総額	1,230億ドル 13兆3,972億円
株価変化率(%)	19.1 (過去6ヶ月間) 49.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	20.0 (倍)
株価売上高比率	2.1 (倍)
PBR	39.3 (倍)
税前配当利回り(%)	2.20 (直近年率)
配当成長率(%)	9.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	275.6 (%)
株式ベータ	0.88 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2018/12	53,762	—	7,334	—	5,046	—	17.59	8.20
2019/12	59,812	11	8,545	17	6,230	23	21.95	9.00
四半期業績								
2018/Q4	14,411	—	1,851	—	1,253	—	4.39	2.20
2019/Q4	15,878	10	2,149	16	1,498	20	5.29	2.40

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

コーニング(GLW)

上場市場

ニューヨーク

セクター

電子部品

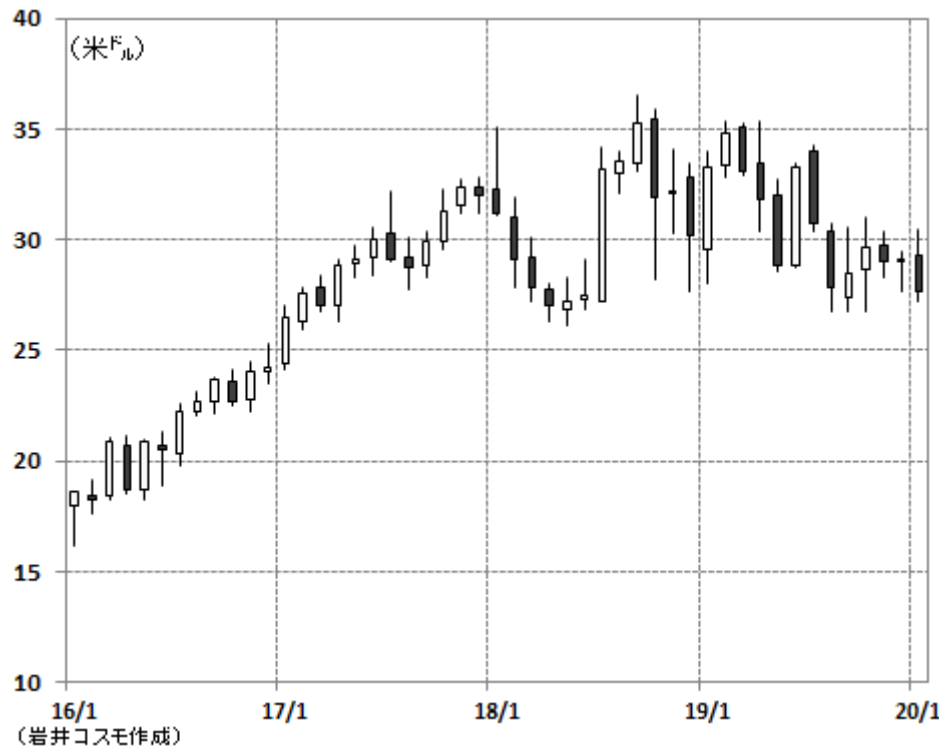
特殊ガラスメーカー。5G時代に光ファイバー需要と、スマホの筐体(ボディ)のガラス化の恩恵に期待

会社概要

1851年創業の老舗特殊ガラスやセラミック製品メーカー。新素材を研究開発し、様々な産業に供給する。液晶テレビ用ガラス基板や、光ファイバー、排ガス除去フィルタ等のセラミック製品、スマホやタブレットPC用のガラス「ゴリラガラス」は代表的製品。地域別売上高構成比(18年度)は、米州が34%、アジア太平洋が50%、欧州が12%、その他が3%。本社はニューヨーク、従業員数は全世界で約51,500名(18年末)。

注目ポイント

- **5G時代に超高速の固定回線(光ファイバー)も必要**: 次世代通信規格5Gの導入により無線通信網の超高速化が進むのに従って固定通信網でも通信速度の向上が求められており、超高速・大容量化した新しい光ファイバーの需要の盛り上がりが想定される。
- **電波を通しやすい素材としてガラスが注目**: 5G対応のスマホの筐体(きょうたい)のガラス採用の期待がある。アルミ等の金属素材では電波を通しづらく、より通しやすい素材としてガラスやプラスチックが注目されている。またコード不要で充電ができる「無線給電」にも適し、4Gの高価格帯スマホの一部には背面ガラスが採用されている。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	27.69 (01/30)	実績PER	16.5 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	35.339 (19/04/17)	株価売上高比率	1.9 (倍)	2018/12	11,290	12	1,575	-2	1,066	黒転	1.13	0.72
52週安値(日付)	26.75 (19/10/03)	PBR	2.0 (倍)	2019/12	11,503	2	1,306	-17	960	-10	1.07	0.80
時価総額	211億ドル 2兆2,990億円	税前提当利回り(%)	2.89 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-11.8 (過去6ヶ月間) -17.4 (過去1年間)	配当成長率(%)	11.1 (過去1年間)	2018/Q4	3,035	—	464	—	292	—	0.32	0.18
		株主資本利益率(ROE)	7.8 (%)	2019/Q4	2,817	-7	147	-68	32	-89	0.01	0.20
		株式ベータ	1.14 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ディズニー(DIS)

上場市場

ニューヨーク

セクター

娯楽・メディア

世界的な娯楽・メディア企業。映画のヒットから始まるコンテンツ収入の相乗効果を発揮

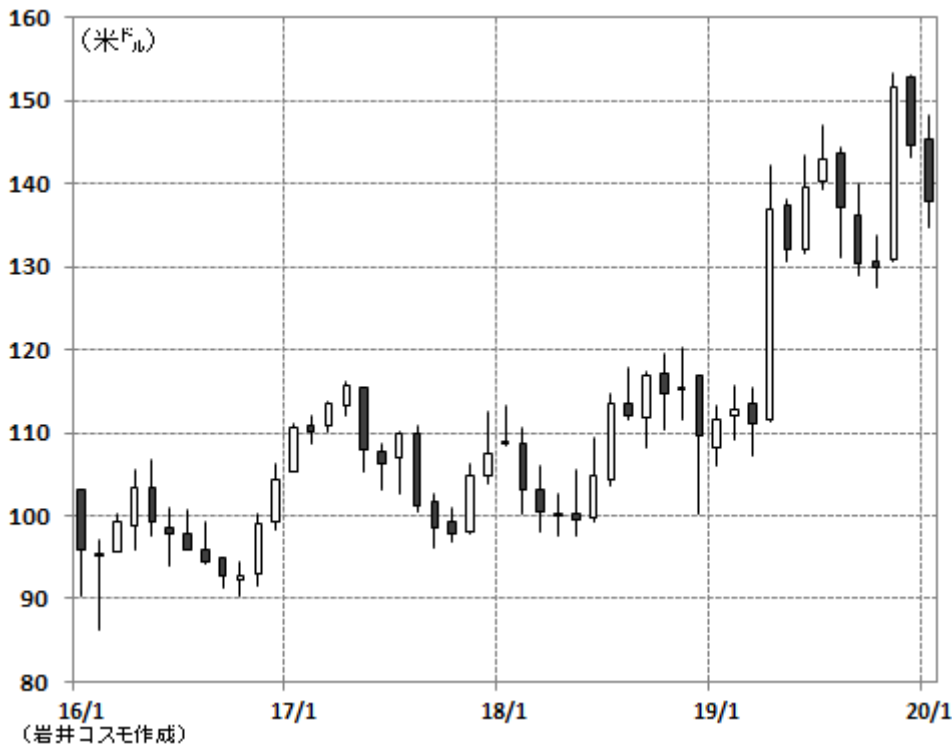
会社概要

1923年設立の世界的な一大娯楽・メディア企業。「ミッキー・マウス」等のキャラクターを映画/アニメ化で世に送り、商品化・ライセンス管理まで手掛けるほか、テーマパークやホテルを米国等各地で展開。メディアでは米3大ネットワークのABCを保有。19年3月に21世紀フォックスの映画事業を買収。売上構成(前期)はパーク&物販37%、メディア35%、映画製作・興行16%、映像配信等&国際13%。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **映画のヒットにより2次利用の相乗効果生む**：「アナと雪の女王」や「スター・ウォーズ」、「アベンジャーズ」をはじめ人気コンテンツを抱える。人気映画のコンテンツの2次利用の範囲は広く、DVD販売やキャラクター商品、テーマパークのアトラクション導入など新ビジネス派生の好循環を生む。

□ **「ディズニー・プラス」が好調なスタート**：同社が19年11月12日から開始した「ディズニー・プラス」のダウンロード数はアップルストアやグーグルプレイ経由で4,100万件を記録、ユーザー支出は約1億ドルに達したと米調査会社のレポートで明らかになった。これはライバルアプリの「HBOナウ」が最初の2ヶ月で稼いだ4倍の規模になる。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	137.81 (01/30)	実績PER	28.1 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	153.41 (19/11/26)	株価売上高比率	3.3 (倍)	2017/09	55,137	-1	13,788	-7	8,980	-4	5.69	1.56
52週安値(日付)	107.32 (19/03/25)	PBR	2.8 (倍)	2018/09	59,434	8	14,729	7	12,598	40	8.36	1.68
時価総額	2,488億ドル 27兆1,074億円	税前配当利回り(%)	1.28 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-4.9 (過去6ヶ月間) 25.1 (過去1年間)	配当成長率(%)	2.3 (過去1年間)	2018/Q3	15,229	—	3,854	—	2,916	—	1.95	0.00
		株主資本利益率(ROE)	16.1 (%)	2019/Q3	20,245	33	2,018	-48	1,760	-40	0.97	0.00
		株式ベータ	0.89 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ファイザー(PFE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

大手製薬

製薬企業の世界大手。新薬事業切り離しによる構造改革進展に期待

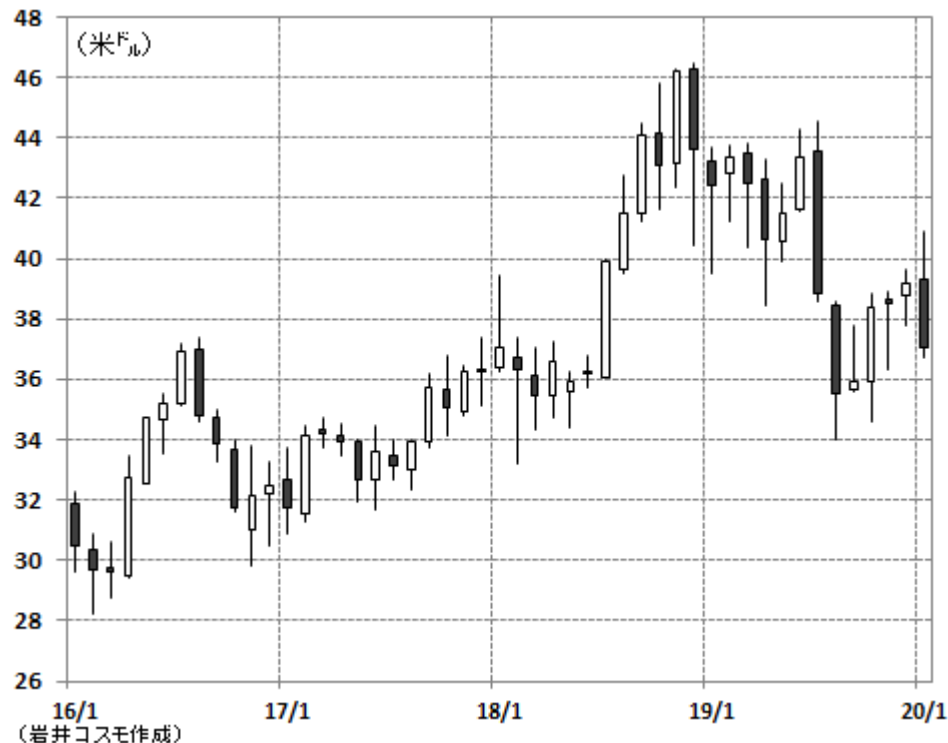
会社概要

処方箋薬の売上規模(18年)で世界トップの製薬大手。販売力に定評。米ワイス社買収等のM&A戦略や新興国展開、利益改善に向けた社内構造改革を実行中。地域別の売上高構成は米国46%、欧州17%、新興国25%、その他12%(19年実績)。現在の主力薬は乳がん治療の「イブランス」や抗凝固薬の「エリキュス」。本社はニューヨーク、従業員数は約92,400名(18年末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **組織再編中。本体は新薬の開発・販売に集中**：19年8月に消費者向けヘルケア部門の大半が英GSK社との合併会社に移管・非連結化されたほか、特許切れ部門(子会社「アップジョン」)が20年中に後発医薬品大手のマイランと統合する計画を19年7月に発表。新薬開発に特化する新組織は向こう5年間で年平均売上成長率・約6%増が見込めるとしている。

□ **遺伝子療法の開発を強化**：1回の投薬で深刻な疾病を治療する遺伝子療法薬の開発を強化、自社の製造施設を拡張し、小児発症の遺伝性疾患など3件の臨床遺伝子治療プログラムを開発中。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標 (バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	37.07 (01/30)	実績PER	15.3 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	44.55 (19/07/03)	株価売上高比率	4.0 (倍)	2018/12	53,647	2	11,885	-3	11,153	-48	1.87	1.38
52週安値(日付)	33.97 (19/08/15)	PBR	3.2 (倍)	2019/12	51,750	-4	17,682	49	16,273	46	2.87	1.46
時価総額	2,051億ドル 22兆3,531億円	税前提当利回り(%)	4.10 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	-4.4 (過去6ヶ月間) -10.8 (過去1年間)	配当成長率(%)	7.4 (過去1年間)	2018/Q4	13,976	—	-946	—	-394	—	-0.07	0.36
		株主資本利益率(ROE)	23.8 (%)	2019/Q4	12,688	-9	-1,508	赤継	-337	赤継	-0.06	0.38
		株式ベータ	0.97 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

岡安証券

社名 (ティッカー)

ネクステラ・エナジー(NEE)

上場市場

ニューヨーク

セクター

公益(電力・ガス)

風力などの環境配慮型の発電に特化する電力会社

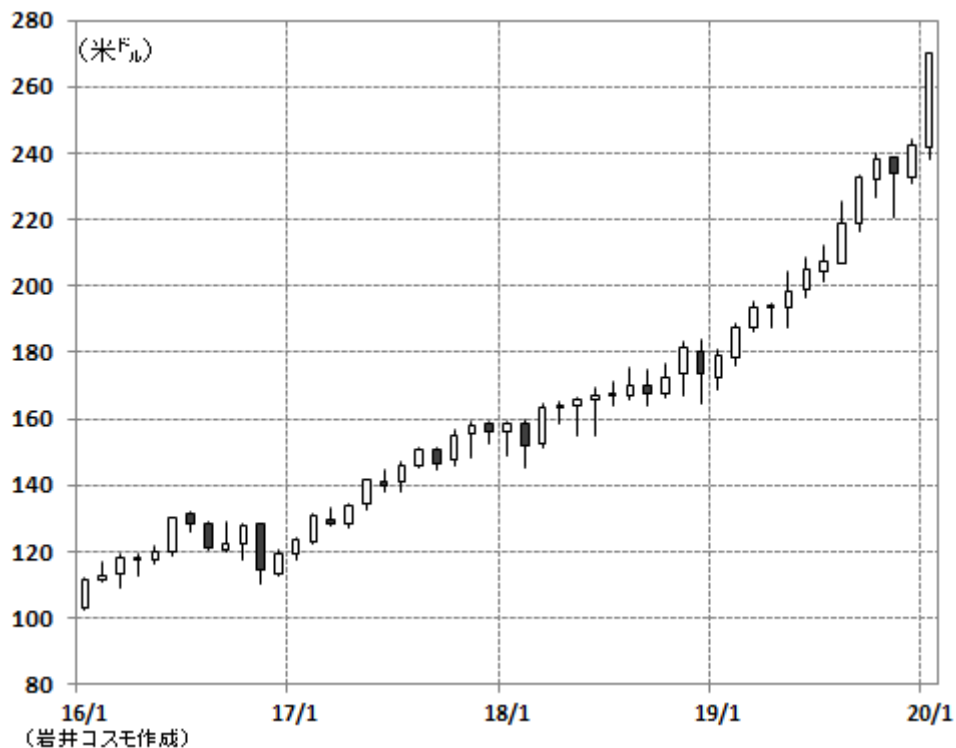
会社概要

再生可能エネルギー等の発電・販売を手掛ける持株会社。風力、太陽光、液化天然ガスによる環境負荷の小さい発電所を中心に運営し、子会社を通じて複数の原子力発電所も保有する。持株会社は主に、フロリダパワー&ライト(FPL)とネクステラ・エナジー・リソースズ(NEER)から構成される。持株会社のルーツであるFPLは1925年創業、1950年にNY市場に上場。2010年に持株会社「ネクステラ・エナジー」を設立。

注目ポイント

□**環境配慮型発電に特化**：売上高のおよそ3割を占めるNEERはより環境配慮型の発電に注力している。NEERの発電量の64%が風力発電、11%が太陽光発電と全発電量の4分の3が再生可能エネルギーに占められている。風力や太陽光発電の発電コストは年々低下してきており、経済合理性の観点からも注目を集めている。

□**ESG投資でも注目**：近年、環境配慮や企業統治の優れた企業に投資する「ESG投資」が活発化しており、これらの対応が重要視される。同社はS&PのESG評価でも、セクター最高の評価を受けるなど、機関投資家の評価も高く、今後も環境に配慮した取組みを続ける。



株価チャート (2016年以降・月足)

株価データ		株価指標(バリュエーション)		通期業績								
株価(米ドル)	269.93 (01/30)	実績PER	32.7 (倍)	決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
52週高値(日付)	270.25 (20/01/30)	株価売上高比率	6.8 (倍)	2018/12	16,727	—	4,280	—	6,638	—	13.88	4.44
52週安値(日付)	172.18 (19/01/30)	PBR	3.6 (倍)	2019/12	19,204	15	5,353	25	3,769	-43	7.76	5.00
時価総額	1,319億ドル 14兆3,757億円	税前提当利回り(%)	1.85 (直近年率)	四半期業績								
株価変化率(%)	28.9 (過去6ヶ月間) 55.5 (過去1年間)	配当成長率(%)	12.6 (過去1年間)	2018/Q4	4,390	—	1,107	—	422	—	0.88	1.11
		株主資本利益率(ROE)	10.6 (%)	2019/Q4	4,588	5	878	-21	975	131	1.99	1.25
		株式ベータ	0.52 (対S&P500)									

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

株式投資に関するご留意事項

◆手数料等について

■国内株式

- 国内株式の売買には、約定代金に対して最大1.265%（税込）の委託手数料が必要となります。
※委託手数料が2,750円に満たない場合は2,750円

■外国株式

- 国内取次手数料

約定代金が5.0万円以下の場合	約定代金の16.5%（税込）
約定代金が5.0万円超50万円以下の場合	8,250円（税込）
約定代金が50万円超の場合	最大で約定代金の1.1% + 2,750円（税込）

- 現地諸費用：外国取引にかかる現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書上でその金額等をあらかじめ記載することはできません。
- 「外国証券取引口座」を開設されていない場合は、口座開設が必要となります。

■新規公開株式

- 新規公開株式を購入される場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

◆主なリスクについて

株価変動リスク	政治・経済、社会情勢等の変化により、株式相場等が変動し損失を被るおそれがあります。
新規公開株式にかかるリスク	新規公開株式は、国内外の事業会社が発行する株式であり、金融商品取引所への上場後は、株式相場の変動や当該事業会社等の信用状況に対応して価格が変動すること等により、損失が生じるおそれがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者の信用・財務状況などの変化等により、価格等が下落したり、投資元本を回収できなくなったりすることで、損失を被るおそれがあります。
流動性リスク	流動性の悪化または流通市場の混乱により、損失を被るおそれがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動等により、受取金額が増減し損失を被るおそれがあります。

※信用取引を行う場合は、委託保証金を担保として差し入れていただきます。委託保証金は、売買代金の30%以上で、かつ100万円以上が必要です。また、信用取引を行う場合は、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がお客様の差し入れた委託保証金の額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。

当社が取扱う商品等は、上記リスク等により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をお読みください。

本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。